

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

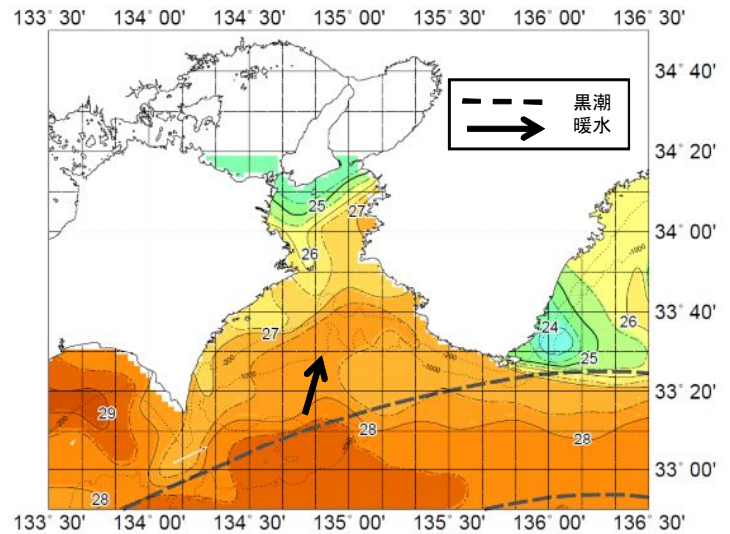
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.7.28）を示した。

黒潮は、室戸岬沖で、やや離岸、潮岬沖で接岸している。

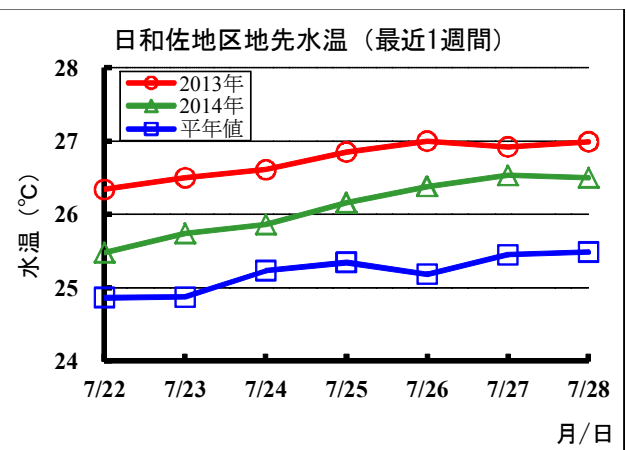
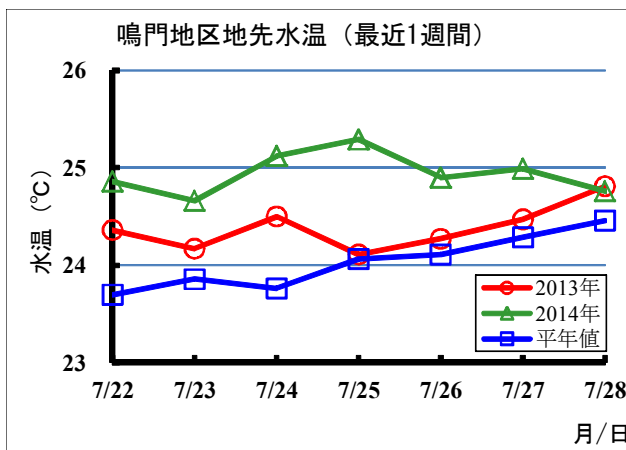
黒潮本流の表面水温は、27～28℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で24℃台、紀伊水道では24～27℃台、海部沿岸は26～27℃台である。紀伊水道外域では、室戸岬と潮岬を結ぶ中央付近から暖水流入がある。



漁業調査船「とくしま」で7月22、23、24日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、表層は「かなり高め」の26.0℃、10～30m層は「高め」の24.4～22.9℃、50m層は「やや高め」の20.9℃であった。

### 紀伊水道海区観測結果

観測日		水 温					塩 分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
7/22, 23, 24	今年値	26.0	24.4	23.7	22.9	20.9	32.5	33.1	33.5	33.7	34.4
	平年偏差	3.0	2.4	2.1	1.7	1.3	0.8	0.4	0.3	0.2	0.2
	前年偏差	0.6	0.7	1.1	2.0	4.4	0.1	0.4	0.3	-0.1	-0.1



**地先水温** 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の24.7～25.3℃、日和佐地区は「やや高め」の25.5～26.5℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の25.1～26.6℃で推移した。

\* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

\* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

## 2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にマサバが0.2トン（1日1隻当たり7kg）、大主体にキダイが0.1トン（同10kg）、小主体にアカムツが0.8トン（同22kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大主体にマアジが0.2トン（同8kg）、大主体にイサキが0.1トン（同7kg）、紀伊水道で特大主体にタチウオが0.3トン（同9kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラス62.0トン（同500kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年7月21日～2014年7月27日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	マサバ	22	152	7	大主体
		キダイ	15	146	10	大主体
		アカムツ	36	792	22	小主体
釣り	海部沿岸	マアジ	20	150	8	大主体
		イサキ	20	143	7	大主体
		紀伊水道	タチウオ	31	286	9
パッチ網	紀伊水道	シラス	124	62,000	500	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の7月22日～7月28日には、海部沿岸では、延縄でアカムツが1.3トン、大主体にゴマサバが0.5トン、小型定置網で小主体にマアジが0.7トン、マイワシが0.4トン、ウルメイワシが0.6トン、小主体にカンパチが0.5トン、小小主体にアカカマスが0.7トン、ヒラソウダが0.3トン、釣りでマルソウダが1.7トン、紀伊水道では、パッチ網でシラスが34.9トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」～「やや高め」の24～25℃台、日和佐地先で「平年並」～「やや高め」の26～27℃台で推移する見込み。